

一般社団法人日本薬学生連盟 2026 年度補欠選挙立候補申請書

立候補者氏名	廣江悠仁
立候補する役職	プロモーション部統括理事
大学/学部/学科	大阪医科薬科大学/薬学部/薬学科
学年	4 年
所属	プロモーション部
日本薬学生連盟での活動経歴	2024 年 プロモーション部 所属 2025 年 プロモーション部 所属 年会 PR 班 所属
立候補動機	<p>2 年間プロモーション部で活動する中で培ってきた経験や技術を生かし、日本薬学生連盟の魅力をより多くの方に伝えていきたいと考え、立候補しました。</p> <p>本選挙の際には、実務実習をはじめとする研究室活動や就職活動が本格化する時期と重なること、部員の減少による統括へのタスクの集中を鑑みて、統括としての活動と十分に両立できる見通しが立たなかったため、立候補を見送る判断をしました。しかしその後、年会 PR 班において、冊子制作やデザイン、SNS 発信に関心を持つ班員が所属し、チームとしての体制が整いつつあることで、プロモーション部統括としての役割を担うことができると考えるようになりました。そのため、今回の補欠選挙に立候補しました。</p>
問題点と改善案	<p>●一部の部員へのタスクの集中 現在、所属部員の多くが高学年であり、実務実習や研究室活動、学業との両立により、十分な活動時間を確保できていない状況です。その結果、一部の部員にタスクが集中し、PR 活動が十分に行っているとは言えない状態です。</p> <p>この課題に対しては、低学年会員の勧誘を行い、プロモーション部への参加を促すことが有効な解決策であると考えます。今年度は日本薬学生連盟全体の会員数増加を目的として知名度の拡大に取り組んできました。来年度は今年度に引き続き会員数の増加を目指すとともに、プロモーション部自体の活動内容や魅力を積極的に発信し、「プロモーション活動に携わりたい」という動機で日本薬学生連盟に加入する会員の獲得を目指します。</p> <p>●AXIA-NEO-の中断 今年度は、活動部員の減少や統括としての経験不足などを理由に、AXIA-NEO-の発行を中断していました。しかし、年会 PR 班における年会冊子の執筆を通じて、AXIA-NEO-の執筆に関心を持つ部員が複数名いることが分かりました。</p> <p>そのため、来年度はプロモーション部に新たな部員を招き、AXIA-NEO-を復活させ発信媒体の幅を広げることで、日本薬学生連盟の認知度向上を図るとともに、さらなる新規部員の獲得につなげていきたいと考えています。</p> <p>●リーチ数の低下 フォロワー数は昨年度と比較して増加傾向にある一方で、リーチ数は平均約 1,500 程度にとどまっています。全国の薬学生が約 7 万人いることを踏まえると、認知拡大という点では、とても十分だとは言えません。リーチ数の増加、ひいては日本薬学生連盟の認知拡大には、リール動画の活用が有効であると考えています。今年度に投稿したリール動画は、Instagram 単体での再生回数でフィード投稿と大きな差はありませんでしたが、リール動画は YouTube や TikTok への展開が容易であり、総リーチ数の拡大が期待できます。TikTok については、仕様上、投稿開始時に複数本の動画を公開することが望ましいため、一定数の動画を制作した上で運用を開始する予定です。</p>
活動計画	<p>【通年】</p> <ul style="list-style-type: none">・HP、各種 SNS の更新・リール動画の投稿・問い合わせの対応・サーバーやマーケティングツールを利用し、各種 SNS の現状分析・通年冊子の作成・AXIA-NEO-の執筆、発行 <p>【スケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none">4 月 新飲用 AXIA-NEO-制作5 月 プロモーション部交流会

	<p>6 月 勉強会 9 月 日本薬学生ジャンボリー用 AXIA-NEO-制作 世界薬剤師デーアンケート投稿 12 月 年会用 AXIA-NEO-制作、年会特設HPサイトの制作 2 月 年会用パンフレット、次年度団体リーフレットの制作</p>
所信	<p>今年度は、私自身の経験不足もあり、通常業務を円滑に進めることができず、自分の思い描く活動を展開することができませんでした。今年度は、昨年度の経験や反省を生かし、活動の幅を広げつつも、部員一人ひとりの興味や関心に配慮しながら、各活動における取り組みにメリハリをつけていきたいと考えています。</p> <p>また、2026 年度会長が選挙において指摘していた「各統括委員長への負担が大きく、スタッフが主体的に参画する機会が限られている」という課題は、プロモーション部においても同様に見受けられます。今後は、プロモーション部においても副リーダーの設置を検討するとともに、業務のマニュアル化を進めることで、部員が活動に参加しやすい体制を整えていきます。日本薬学生連盟の魅力、プロモーション活動そのものの魅力を、より多くの方に伝えられるよう1年間尽力します。</p>